



2018年6月1日

各 位

会社名 株式会社MS&Consulting
代表者名 代表取締役社長 並木 昭憲
(コード番号：6555 東証マザーズ)
問合せ先 IRチーム ir@msandc.co.jp

当社ホームページへの不正アクセスによるご登録情報の流出可能性について（続報）
—調査結果と再発防止策—

2018年5月14日（月）付け「当社ホームページへの不正アクセスによるご登録情報の流出可能性について」にてお知らせの通り、当社が運営するミステリーショッピングリサーチのWebサイト（<https://www.ms-r.com/>）におきまして、不正アクセスがあり、ご登録情報が一部流出した恐れがあることが判明しました。

モニターの皆様及び関係者の皆様に多大なるご迷惑とご心配をおかけすることを、心より深くお詫び申し上げます。

5月15日（火）以降、外部専門機関を交えた当社Webサイトの安全性の再検証、及びフォレンジック調査を実施いたしましたので、調査結果と再発防止策につきまして、下記の通りご報告申し上げます。なお、現在では、当該Webサイトの安全性が確保されていることの外部専門機関による検証を完了しております。

当社は、このたびの事態を厳粛に受け止め、二度とこのような事態を起さぬよう、引き続き外部専門機関の協力を得ながら、再発防止に全力で取り組んでまいります。

また、現在のところ、本件を原因とする流出情報の明確な痕跡、ならびに本件と因果関係が推定される個人情報の不正使用等については確認されておりませんが、今後も不正利用の監視等、適正に対処してまいります。

記

1) 経緯

5月10日（木）：社内の定例会議にて、サーバログの確認を行ったところ、不正アクセスを発見したため、当該ソフトウェアの修正を実施いたしました。なお、不正アクセスの日時は5月2日2時13分より13時25分の間です。

5月11日（金）：当該ソフトウェアを全体的に見直し、必要な修正を実施いたしました。

5月12日（土）：改めてサーバログを詳細に調査した結果、ご登録情報が一部流出した恐れがあることが判明いたしました。また、当該WebサイトのWAF（Webアプリケーションファイアウォール）の設定を提供会社に照会し、適切に再設定いたしました。

5月14日（月）：一般社団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）や中央警察署等公的機関への報告・相談を実施いたしました。また、5月2日の不正アクセスに関して上記経緯とともに速報を適時開示いたしました。

- 5月15日（火）：外部専門機関を交えた当社Webサイトの安全性の再検証、及びフォレンジック調査を開始いたしました。
- 5月28日（月）：外部専門機関より当社Webサイトの安全性が確保されていることを確認した旨報告を受けました。
- 6月1日（金）：外部専門機関より調査報告書を受領し、本件における流出可能性があった情報の概要に関して下記の報告を受けました。

2) 影響範囲

5月14日（月）の開示では5月2日の不正アクセスの影響範囲を6,119件としておりましたが、その後の外部専門機関を交えたフォレンジック調査によって、5月2日以前にも同様の不正アクセスが発生していた旨、ならびにその結果として本件における流出可能性があった情報の概要は以下の通りである旨の報告を受けております。

件数	約57万件 ※重複登録や登録が正常に完了していないもの、メール配信停止中のもの等を含む
対象情報	2000年5月から2018年5月2日の間に登録された情報
情報項目	<ul style="list-style-type: none"> ・メールアドレス ・パスワード ・電話番号

上記パスワードを用いた当社システムへの不正ログインは確認されておりません。また、登録情報の改ざんや金融機関口座の情報など上記項目以外の流出可能性等も確認されておりません。

なお、当社はクレジットカード情報をご登録いただいておりません。

3) 原因

ログ解析の結果、攻撃手法は、URLの末尾のパラメータと呼ばれる箇所には不正なデータベースコマンドを混入させ、本来とは異なる情報を表示させようと試みる「SQLインジェクション」と判明いたしました。

当社では当該攻撃への対策として、WAFを導入しておりましたが、WAFの設定に誤りがあったため海外子会社向けのモニター登録サイトから、共通のデータベースを利用している当該Webサイトに不正なアクセスを受けたものです。

4) 実施対策と再発防止策

1. ご案内メールの送信

当社Webサイトにご登録いただいているモニターの皆様及び関係者の皆様には、パスワードの変更依頼や不審メールへの注意喚起等についてメールまたは電話にてご連絡いたしました。

2. 窓口によるお問合せ対応

本件に関するお問合せ窓口を設置し、モニターの皆様及び関係者の皆様にご案内いたしました。

3. システムの修正と検証

5月12日（土）にWAFの設定修正を実施いたしました。また、5月15日（火）に外部専門機関の脆弱性検査を開始し、検出事項についてはリスクレベルの低いものも含め全て改修完了いたしました。その結果、5月28日（月）に安全性が確保されていることの外部専門機関による検証を完了しております。

4. 再発防止策

今後の再発防止策として、外部専門機関と相談し以下を実施予定です。

- ①システムに対するアクセスの監視の強化
- ②システム開発及び運用におけるセキュリティ要件の厳格化
- ③システムに対する第三者による定期的なセキュリティ診断の実施
- ④全社的な情報セキュリティ管理体制の強化

5. 公的機関への報告・相談

本件に関し、改めてプライバシーマーク制度の運用機関である一般社団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）に対し概要を報告しております。また、所轄の中央警察署にも継続して不正アクセスに関する被害を相談しております。

5) その他

本件が業績に与える影響は軽微であります。

当社から情報流出の恐れがある方々に電話・郵便・メール等で、金融機関口座や、クレジットカード情報、暗証番号、マイナンバーをお伺いすることは、一切ございません。

不審なメールについては、メール及び添付ファイルの開封を控えるなど、何卒ご注意ください。ようようお願い申し上げます。

このたびは、関係者の皆様に多大なるご迷惑とご心配をおかけすることを、重ねて、心より深くお詫び申し上げます。

以上